

令和3年度 公共事業 事後評価 対象事業一覧表

○重点説明事業選定の視点

・以下の点に基づき代表箇所を選定する。

①今後の事業の参考となる箇所 ②計画時又は再評価時と著しく事業費、効果が異なった箇所 ③著しく効果が発現している箇所

資料3

(くらし・環境部所管事業)

単位(事業費): 百万円

番号	事業主体	事業名	(ふりがな)箇所名	関係市町	事業概要				事後評価理由	対応方針(案)及び理由		同種事業への反映等 (今後に活かすべき知見、活用の方向性)	代表説明箇所の選定 選定の視点					特記事項 事業費負担割合	担当課				
					事業費	事業期間	施設の利用状況や被害軽減効果等			対応方針(案)	理由		1事業のみ	①今後の参考	②計画変更等	③効果発現	選定結果						
																				上段: 計画(当初(事業採択時)または前回(最終再評価時))			
																				中段: 実績(事業完了時=事後)			
下段: 計画と実績の差																							
1	静岡県	公営住宅等整備事業	県営住宅麻機北団地1号棟建替整備事業	静岡市葵区	1,187	H25~H28	-	B/C: 0.80 EIRR: -	事業完了後5年経過	事業効果は十分に発現しており、改善措置の必要はない。	・空家率が5%未満であり、評価内容も概ね良好な結果を得られている。	・今後の高齢化の進展、人口減少といった社会情勢の変化に的確に対応した建替整備に努める。 ・施設のユニバーサルデザイン化を進め、全ての人が利用しやすい住宅の整備に努める。 ・多様な世帯構成に対応できるような型別の住宅供給を推進する。 ・大規模地震などへの対策や防犯性の向上など、安全・安心の確保に努める。 ・地域景観やコミュニティ形成の向上に配慮した住宅の整備に努める。 ・脱炭素社会の実現に向け、環境負荷の軽減等に配慮した住宅の整備に努める。	-	-	-	-	◎	国 45% 県 55%	公営住宅課				
					1,090	H25~H28	-																
					97百万円減(8%減)	-	-																

(経済産業部所管事業)

単位(事業費): 百万円

番号	事業主体	事業名	(ふりがな)箇所名	関係市町	事業概要				事後評価理由	対応方針(案)及び理由		同種事業への反映等 (今後に活かすべき知見、活用の方向性)	代表説明箇所の選定 選定の視点					特記事項 事業費負担割合	担当課				
					事業費	事業期間	施設の利用状況や被害軽減効果等			対応方針(案)	理由		1事業のみ	①今後の参考	②計画変更等	③効果発現	選定結果						
																				上段: 計画(当初(事業採択時)または前回(最終再評価時))			
																				中段: 実績(事業完了時=事後)			
下段: 計画と実績の差																							
2	静岡県	生産基盤整備事業(畑地帯総合整備事業)	新丹谷	静岡市	2,963	H9~H25	年総効果額: 147百万円	B/C: 1.06 EIRR: -	事業完了後5年経過	事業効果は十分に発現しており、改善措置の必要はない。	・区画整理、農道、畑地かんがい施設の整備により、営農労力の軽減が図られたほか、生産量及び品質が向上し、生産地として強化された。 ・創設非農用地(新東名アクセス道路)の土地代金を事業費負担に充当し、地元負担の軽減が図られた。 ・幹線農道、区画整理内農道及び既存の主要道路を結ぶことにより、農道網が形成された。	・本事業により営農意欲のある担い手農家への農地集積が進んだことにより地域の農業が継続され、耕作放棄地の発生が抑制されている。 ・換地による公共事業等の用地を創設する手法は、農業振興と秩序ある土地利用の両方が可能。近年、採択された他地区でも同種事業を活用し道路用地を創設し、農業振興と土地利用の両立を図っている。 ・本事業による農作業条件の改善や営農時間の縮減などの効果だけでなく、農村環境の向上などへの波及効果も大きいことから、今後もJA、静岡市と協力し地域の特色を生かした事業を展開していく。	-	-	-	○	◎	国 50% 県 30% 地元20%	農地整備課				
					3,117	H9~H27	年総効果額: 168百万円																
					154増(5%増)	2年延長(13%増)	年総効果額: +21百万円																
3	静岡県	生産基盤整備事業(経営体育成基盤整備事業)	中郷	三島市	1,719	H8~H27	年総効果額: 103百万円	B/C: 1.11 EIRR: -	事業完了後5年経過	事業効果は十分に発現しており、改善措置の必要はない。	・水田の区画整備により生産量、品質が向上するとともに、営農労力の節減が図られ、地区内及び周辺地域の中心的経営体への農地集積、規模拡大が進み、農業産出額の増に寄与している。	・本事業により、営農労力の節減を図り、地区内の中心的経営体の農地集積が促進され、規模拡大が進んだ。今後は、水田の区画整理により営農の効率化を図る地域において、本地区をモデルとしたほ場の大区画化や用水路の整備、更には水田ICT等の省力化技術を導入し、効率的で効果的な営農による農業生産性の向上を図っていく。	-	-	-	-	-	◎	国 50% 県 30% 地元20%	農地整備課			
					1,810	H8~H27	年総効果額: 167百万円																
					91増(5%増)	-	年総効果額: +64百万円																
4	静岡県	生産基盤整備事業(経営体育成基盤整備事業)	北郷北部	小山町	1,022	H18~H27	年総効果額: 48百万円	B/C: 1.01 EIRR: -	事業完了後5年経過	事業効果は十分に発現しており、改善措置の必要はない。	・水田の区画整備により生産量、品質が向上するとともに、営農労力の節減が図られ、地区内及び周辺地域の担い手農家への農地集積、規模拡大が進み、農業産出額の増に寄与している。	・本地区は、中山間地域に位置する農地であるが、生産量や品質の向上と営農労力の節減を図り、地区内の担い手農家への農地集積が促進され、規模拡大が進んだ。今後は、同様の中山間地域に位置する農地に対し、本地区をモデル地区として、水田の区画整備を推進するとともに、ほ場の大区画化や暗渠排水の整備、更には水田ICT等の省力化技術を導入し、効率的で効果的な営農による農業生産性の向上を図っていく。	-	-	-	-	-	◎	国 50% 県 30% 地元20%	農地整備課			
					1,022	H18~H27	年総効果額: 57百万円																
					-	-	年総効果額: +9百万円																
5	静岡県	農地保全事業(農地保全整備事業)	村山	富士宮市	2,350	H2~H23	年総効果額: 167百万円	B/C: 1.01 EIRR: -	事業完了後5年経過	事業効果は十分に発現しており、改善措置の必要はない。	・近年の豪雨の頻発化や激化においても、整備事業実施前のような被害報告はないことから、営農や生活環境が向上しており、事業効果は十分発揮されているといえる。	・本事業による排水路や水路兼農道の系統的な整備により、耕作土の流出に対する事業効果が発揮されたことから、今後、土壌侵食が課題となっている地域において、本地区の土壌侵食防止工法を活用していく。	○	-	-	-	-	◎	国 50% 県 25% 地元25%	農地保全課			
					2,458	H2~H27	年総効果額: 225百万円																
					108増(5%増)	4年延長(19%増)	年総効果額: +58百万円																

(交通基盤部所管事業)

単位(事業費): 百万円

番号	事業主体	事業名	(ふりがな)箇所名	関係市町	事業概要				事後評価理由	対応方針(案)及び理由		同種事業への反映等 (今後に活かすべき知見、活用の方向性)	代表説明箇所の選定 選定の視点					特記事項 事業費負担割合	担当課				
					事業費	事業期間	施設の利用状況や被害軽減効果等			対応方針(案)	理由		1事業のみ	①今後の参考	②計画変更等	③効果発現	選定結果						
																				上段: 計画(当初(事業採択時)または前回(最終再評価時))			
																				中段: 実績(事業完了時=事後)			
下段: 計画と実績の差																							
6	静岡県	港湾環境整備事業(緑地等)	たごうらこ子子の浦港	富士市	1,800	H17~H27	利用者数 117千人/年	B/C: 2.28 EIRR: -	事業完了後5年経過	事業効果は十分に発現しており、改善措置の必要はない。	・当初は、年間利用者数117万人を想定していたが平成26年からの供用開始(緑地整備部分)後は年間平均187万人の利用者が来園している。	・NP0と維持管理業務委託を締結し、園内のパトロールや清掃、芝生管理等を委託することで園内の美化と地域住民との良好なコミュニケーションづくりが形成されている。	○	-	-	-	-	◎	国 50% 県 25% 市 25%	港湾整備課			
					1,447	H17~H28	利用者数 187千人/年																
					353減(20%減)	1年延長(9%増)	利用者数 +70千人/年																
7	静岡県	漁港環境整備事業	やいづぎよこ焼津漁港	焼津市	1,620	H14~H26	利用者数 約100千人/年	B/C: 4.06 EIRR: -	事業完了後5年経過	事業効果は十分に発現しており、改善措置の必要はない。	・地域住民の憩いの場として、多くの人に利用されている。 ・コロナ禍の中、アウトドアなど新しい生活様式が求められており、今後も利用が期待される。	・ワークショップにより地元住民や利用者の意見を取り入れ、施設整備に関する円滑な合意形成を図っていく。 ・地元の団体と環境・美化に関するパートナーの同意書を取り交わし、意見交換を行いながら連携して維持管理していく。	○	-	-	-	-	◎	国 50% 県 30% 市 20%	漁港整備課			
					1,511	H14~H27	利用者数 約100千人/年																
					109減(7%減)	1年延長(8%増)	-																